

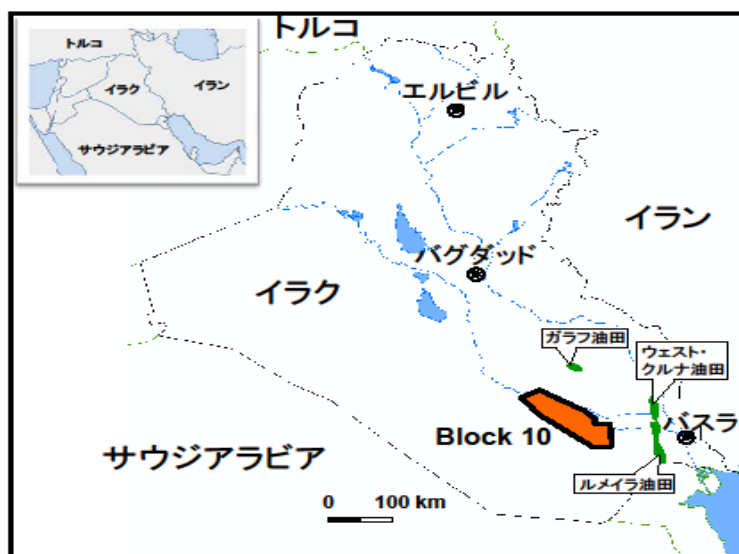
平成 29 年 2 月 22 日

各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号	03-5572-0233

## イラク共和国 ブロック 10 鉱区 (探鉱鉱区) における油層の発見について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社であるインペックス南イラク石油 (以下、同社) を通じて権益を保有するイラク共和国ブロック 10 鉱区 (探鉱鉱区。以下、本鉱区) において試掘井 (以下、本坑井) を掘削した結果、油層の発見に成功しましたので、お知らせいたします。



イラク4次入札 Block 10 ロケーション

本鉱区はイラク南部のバスラ市から西 150km に位置する陸上鉱区であり、鉱区総面積は 5,600km<sup>2</sup> です。同社 (参加権益比率 40%) は、2012 年に実施されたイラク共和国の第 4 次公開入札において、ロシア大手石油会社である PJSC ルクオイル社 (以下、ルクオイル社) の子会社 ルクオイル・オーバーシーズ・イラク・エクスプロレーション社 (オペレーター。参加権益比率 60%) とともに本鉱区権益を取得して以来、地震探鉱のデータ収録作業や本坑井の掘削作業を実施してまいりました。

当社とルクオイル社は、本坑井の掘削作業の結果、ミシュリフ層にて高い生産性を有する油層

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

の発見に成功すると共に、その後に実施した原油の生産テストにおいて日量 8,000 バレル以上の原油の生産を確認いたしました。この結果を踏まえ、当社とルクオイル社は、更なる探鉱活動による評価結果次第では、本坑井で発見された油層が豊富な埋蔵量を有する大規模油田となる可能性が極めて高いと考えています。

当社とルクオイル社は、今後、原油の生産テストで得られたデータ等の解析作業や更なる探鉱活動のための準備作業を進め、商業開発の可能性を検討してまいります。

本鉱区における新たな油層の発見は、世界有数の油田を有する有力産油国のひとつであるイラクにおける当社の石油開発事業の成功への端緒となると考えています。

更に、本鉱区で新たに発見した原油の商業開発が実現すれば、INPEX 中長期ビジョンに掲げた当社の中長期的な成長目標の一つである「上流事業の持続的拡大」に資することが期待されます。

以上